

2年生美術科

題材名 新鮮な視点でとらえよう～風景をいろいろな見方で表そう～(9時間)

1. 題材の目標

- 遠近法の基本を理解し、主題に合わせて活用する。(知識)
- 表現方法に合う画面構成、視点の組み合わせ、コラージュなど、表現方法を工夫する。(技法)
- 見方を変えることで得られる新鮮な感動から主題を生み出し、省略や強調、変形などによる効果を考え、表現の構想を練る。(思考力・判断力・表現力等)
- 身近な場所をいつもとは違う視点で見ることに関心を持つ。(学びに向かう力、人間性)

2. 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・遠近法の基本を理解し、主題に合わせて、活用している。 ・水彩絵の具の特性を生かし、表現意図に合う新たな表現方法を工夫するなどして創造的に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見慣れた風景を視点を変えて見ることで主題を生み出し、単純化や強調、構図や色彩などを考え、創造的な構成を工夫し、表現の構想を練っている。 ・他の生徒の描いた作品を鑑賞し、造形的なよさや美しさ、視点や構図をもとにした主題と創造的な表現の工夫を感じ取り、自分の価値意識を持って味わっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見慣れた風景を視点を変えて描いた表現に関心を持ち、主体的に創造的な工夫をして表そうとしている。 ・表現の工夫を感じ取ろうとしている。

3. 指導と評価の計画(1時～2時をオンラインで実施)

題材のめあて「新鮮な視点で校内の風景を表現しよう」

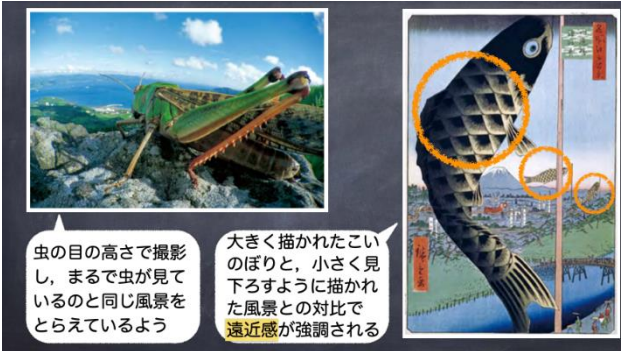
時	主たる学習活動	評価〔評価方法〕
1	<ul style="list-style-type: none"> ○風景画を描く際に関係する遠近法について理解し、見慣れた風景の視点を変えてみることに繋げる。 <p style="text-align: center;">YouTube 授業で実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学習に取り組む態度 ・知識
2	<ul style="list-style-type: none"> ○構図の特徴について理解し、見慣れた風景を画面におさめる。 <p style="text-align: center;">ZOOM 授業で実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> 授業再開時にワークシートでチェック ・主体的に学習に取り組む態度
3 授業再開	<ul style="list-style-type: none"> ○見慣れた風景を視点を変えて見ることで主題を生み出し、構図や創造的な構成を工夫し、構想を練る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思考・判断・表現
4～8	<ul style="list-style-type: none"> ○水彩絵の具の特性を生かし、自分の生み出した主題にあった表現方法で、創意工夫して表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・技能
9	<ul style="list-style-type: none"> ○他の生徒の描いた作品を鑑賞し、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、見方や感じ方を広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思考・判断・表現 ・主体的に学習に取り組む態度

4, 1時間の授業例(第1時)

題材 物の見え方を遠近法を使って理解し、今後の作品につなげよう。
ねらい 目にうつっている風景は、遠近法を使って描くと、距離や立体感などを表すことができること知ること、今後の作品の構想を練るための知識を身に付け、主体的に制作することができる。

展開

①教科書の参考資料を使って遠近について考えさせる。



③遠近感を表すための技法があることを理解させる。

遠近法について

- 線遠近法
→形をとるときに関係する(下描き)
- 空気遠近法
→着色するときに関係する(色塗り)

美術資料 p17

②遠近を感じる見え方について写真を使って確認する。



・写真に線を入れ見え方を確認する。



・授業再開時に作図をすることを伝える。

一点透視図で廊下を描いてみる

- ①突き当たりの壁の大きさを決める
- ②消失点を決める
- ③消失点と壁の四隅を通る線を描く

遠近感とは,

- 奥行きや遠近の距離を感じる
- 距離感や空間を表現する図法を遠近法という
- 遠くのを遠くに、近くのを近くに感じるのとは...

遠くものは **小さく** 見えているから
近くものは **大きく**

④題材を確認し、今後の制作の見通しを持たせる。

新鮮な視線でとらえよう

風景をいろいろな見方で表そう

身の回りの風景をいつもとは違う視点で観察してみましょう。学校が再開したら、校内の風景を描きます。どんな風景を描こうか考えてみてください。

本時における「問い」の工夫

- ・身近な風景や人物の写真を使い、その写真を動かしたり、並べたりすることで、遠近の見え方について興味を持たせる。
- ・遠近法についての知識を得た後、教科書の参考作品を見ることで、作品に込められた工夫や意図に気づかせる。

両手の人差し指と親指を使って長方形の枠を作ってその枠越しに風景を見るといいです。画用紙にどんなふうにも風景を入れるか考えることができます。やってみてください。